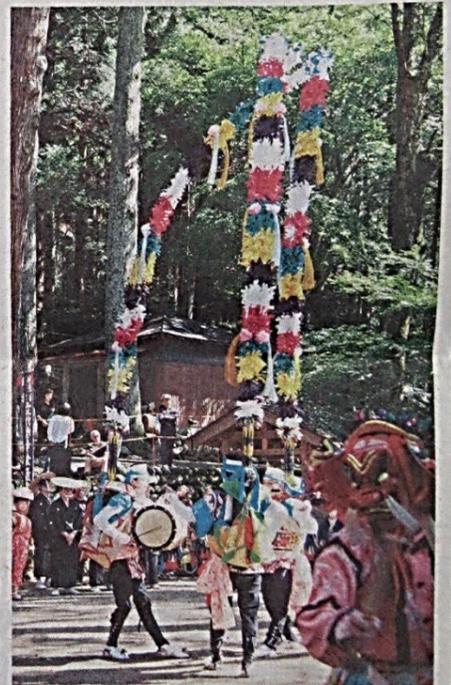


10/7, 8 中津屋のお祭り



郡上市白鳥町中津屋の八幡、白山両神社で七日、秋の祭礼が始まり、県重要無形民俗文化財「嘉喜踊り」が奉納された。八日まで。郡上できょうまで

神社で秋の祭礼
「嘉喜踊り」奉納



長い「しない」を背負って踊る人たち=郡上市白鳥町で

花がさをかぶった子どもたちや笛吹き、歌い手、太刀奴など約百人が参加。拍子打三人が中心になって輪

をつくり、本踊りや返しのをつくり、本踊りや返しのを披露した。拍子打は色紙で飾った「しない」（高さ約五尺）

を背負っており、歌に合わせて踊るたびに大きく揺れた。この日は獅子やおかめが登場する大神楽も奉納され、観客らは地域の人たちが長年守ってきた伝統芸能を楽しんでいた。嘉喜踊りは約四百年前、関ヶ原の戦いで戦功を挙げた郡上領主遠藤慶隆が、自らの凱旋を祝うために踊らせたのが始まりとされる。（中山道雄）

10月8日の中日新聞の記事より

中津屋のお祭りの様子が、新聞で紹介されました。この日のために、9月から夜の時間を使って練習をしてきたと聞きました。運動会の練習や勉強、そして習い事など、いろんなことをがんばりながら、祭りの練習も行ってきたことがすごいです。このお祭りを成功させるために、自分の役目を一生懸命に演じていた姿がとってもすてきでした。